様式第３号

事務事業評価表（内部管理事務等）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 15 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

１ 事業名	生活環境対策事業			コード	73101
２ 担当部課	部等	市民環境部	課等	市民環境課	作成者 高橋　克実

３ 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち	
		政　策	環境保全の推進	施　策 生活環境対策の推進
	予算科目	生活環境対策事業費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
	根拠法令	振動規制法　騒音規制法　岡谷市公害防止条例　等		

●事業の実施内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		自動車騒音常時監視測定業務、不法投棄物のパトロール、公害苦情への対応、河川水質調査、地下水調査を行い、市民生活の環境を維持改善する。
目的	対象者	市民
	意　図	市民の生活環境が、自動車騒音や不法投棄などにより、汚染されないよう、より良い環境の下で生活が送れるようにする。

５ 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

〇生活環境苦情処理
　・騒音、振動等の届出の受理や、振動、騒音、悪臭等の苦情への対応をした。
〇不法投棄への対応
　・庁内関係課や警察等と連携し、投機者の調査や回収を行うとともに、パトロールを実施した。
〇自動車騒音常時監視
　・国土交通省の道路センサスに従い、2路線2センサスの測量、面的評価を実施した。
〇環境ボニター
　・市民公募の環境ボニターにより、環境保全に関する情報の収集に努めた。

前年度の課題への対応	・特になし

６ ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費		2,071,391	2,951,985	33,578,095	2,819,000
	経常経費	818,591	2,360,585	2,083,455	2,819,000
	臨時的経費	1,252,800	591,400	31,494,640	0
	＊臨時的経費の説明	〈H27〉PCB廃棄物処理（コンデンサ　１台）分の処理経費、自動車騒音常時監視委託料を臨時的経費から経常経費に振替えた。〈H28〉PCB廃棄物処理（安定器492台、コンデンサ２台）分の処理経費			
② 人件費		4,400,000	4,400,000	4,400,000	4,400,000
	正規職員の人数（人）	0.55	0.55	0.55	0.55
③ 合計コスト（①＋②）		6,471,391	7,351,985	37,978,095	7,219,000
	前年度比		113.6%	516.6%	19.0%
	財源内訳 一般財源	6,471,391	7,351,985	37,978,095	7,219,000
	財源内訳 特定財源	0	0	0	0
	＊特定財源の説明	なし			
④ コストに関する補足説明					

イ）負担金、補助金、交付金の状況

［単位：件、円、%］

負担金補助金		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
中央道環境対策協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	10,000	10,000	10,000	10,000
美しい環境づくり諏訪地域推進会議負担金	件数	1	1	1	1
	金額	20,000	20,000	20,000	20,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	30,000	30,000	30,000	30,000
	割合	1.45%	1.02%	0.09%	1.06%

●改善の内容（ACTION）

7　具体的な課題と改善

課題	（事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること） ・特になし
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） ・特になし
改善開始時期	

●次年度の計画（PLAN）

8　次年度の方針	継続して実施	9　施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B